

1. 件名：日本核燃料開発株式会社セル負圧警報計器等に係る不適切な点検に関する面談

2. 日時：令和5年7月28日（金）13時30分～15時10分

3. 場所：原子力規制庁 2階会議スペース（Web会議）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 検査グループ 核燃料施設等監視部門

熊谷統括監視指導官、森野総括係長、石井主任監視指導官、正路管理官補佐

東海・大洗原子力規制事務所

星原子力運転検査官

日本核燃料開発株式会社

濱田代表取締役社長 他4名

5. 要旨

(1) 日本核燃料開発株式会社から、本年7月20日に確認されたセル負圧警報機器等に係る不適切な点検について、これまでの調査結果について以下の説明を受けた。

- ・ 過去（令和3年度第2四半期）の規制検査において通知をした「自動火災報知設備の点検の未実施及び不適切な記録（SLIV）」を踏まえ、協力企業著の責任分界点の整理、周知活動や検査担当者の力量管理等を実施してきたものの、今回の事案発生は防止出来なかった
- ・ 不適切な点検が行われていた計器のうち現場に設置されているものについては、点検を実施し機能に異常がないことを確認した
- ・ 今後、不適切な点検が生じた原因について調査を進めていく

(2) 原子力規制庁から以下の伝えた

- ・ 今後の調査スケジュールを提示すること
- ・ なお、調査にあたっては、品質マネジメント等の業務プロセスの観点に加え、人事面・処遇面を含め当該点検員の勤務環境に問題がなかったか確認が必要である
- ・ 本面談記録は、来週早々に公開する予定

6. 配布資料

- ・資料 1（セル負圧警報計器等に係る不適切な点検（速報））
- ・資料 2（ホットラボ負圧系に関する計器の健全性評価方法ならびに施設の安全評価について）
- ・資料 3（セル負圧警報計器等に係る不適切な点検（続報）（放射性廃液タンクに係る一部点検未実施））